

第5章

計画の推進

第5章

1 ライフステージ別の取り組み

ライフステージとは、人生の節目となる各段階（年代）のことといいますが、それぞれのステージの特徴に対応した健康課題があるため、この計画では、次の6期に区分して、主に生活習慣病予防の視点から健康づくりの目標を設定します。

町民は自らのステージに応じて、健康づくりに取り組むことが望まれます。

個人の生活習慣は長年かけて形成されるため、できるだけ人生の早期の段階で、健康によい生活習慣を築くことが重要です。健康に悪い影響を及ぼす生活習慣は、できるだけ早い時期に意識して軌道修正し、健康な生活習慣に変えるように努力することが必要です。

【ライフステージ別の主な目標】

期別	主な目標
乳幼児期 (0～5歳)	健康な家庭環境をつくり、子どもの基本的な生活リズムを育成する
学童期 (6～12歳)	児童みずから望ましい生活リズムと運動・食習慣の基礎をつくれるように、家庭・学校・地域で支援する
思春期 (13～19歳)	生涯にわたって継続できるような自立的で健康なライフスタイルをつくる
成人期 (20～39歳)	運動・食習慣をはじめ健康な生活習慣をつくり、適切なストレス解消方法を身につける
壮年期 (40～64歳)	意識して生活習慣病を予防し、快適なライフスタイルを築く
高齢期 (65歳以上)	健康な生活習慣で、生活機能の低下を防止し、いきいきした生活を楽しむ

1. 乳幼児期(0～5歳)

目標：健康な家庭環境をつくり、 子どもの基本的な生活リズムを育成する

- ・食事、睡眠、歯磨きなどの基本的な生活習慣を確立し、親子の信頼関係を育む大切な時期です。発達に応じた遊びや運動、親子のスキンシップにより健やかに心と体を育みます。
- ・乳幼児の成長にとって、保護者の役割の重要性を認識するとともに、健康に対する正しい知識を持つようにします。

乳幼児期のみんなの目標（保護者）

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	健康な規則正しい食習慣を身につけましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養のバランスのとれた食生活を心がけましょう。 ・間食の内容やとり方に注意しましょう。
身体活動・運動	たくさん遊びましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・親子でスキンシップを大事にして、大いに遊びましょう。 ・発達に応じた遊び、運動を行い、色々な体験をしましょう。
休養・こころの健康	楽しく子育てしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の大切さを知り、夜型の生活を控えましょう。 ・子どもの話に耳を傾けましょう。 ・悩みや不安を一人で抱え込まず、相談しましょう。 ・感情的に叱るのはやめましょう。
飲酒・喫煙	子どものまわりで「たばこ」を吸わないようにしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの近くでたばこを吸わないようにしましょう。 ・家庭等で禁煙・分煙に努めましょう。 ・子どもにアルコールを飲ませたり、なめさせたりしないようにしましょう。
歯・口腔の健康	むし歯予防をはじめましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・歯磨きの習慣を身につけ、歯にフッ素塗布等をしましょう。 ・仕上げ歯磨きをしましょう。
健康管理	乳幼児の健康診査を受けましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・すこやかな発達を確認するため乳幼児健康診査を受けましょう。 ・かかりつけ医を持つようにしましょう。 ・予防接種を受けましょう。 ・規則的な生活リズムを身につけましょう。

2. 学童期(6 ~12 歳)

目標：児童みずから望ましい生活リズムと運動・食習慣の基礎をつくれるように、家庭・学校・地域で支援する

- ・早寝、早起きや歯磨きの習慣など基本的な生活習慣を身につけるとともに、食生活、運動、遊びなどを通してこころと体の基礎をつくる時期です。また、命の大切さ、正しい性の知識を身につけ、家族以外の人との関係をつくっていく時期です。
- ・健康な生活習慣や運動習慣は、子どもみずから自分の生活にとって、気持ちの良いものという実感を持てるようにすることが重要です。

学童期のみんなの目標（保護者と子ども）

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	朝食をしつかり食べて学校に行きましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・家族そろって楽しく栄養バランスのとれた食事をしましょう。 ・間食のとり方や内容に注意しましょう。
身体活動・運動	「運動」や「遊び」を通して体をたくさん動かしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・家の手伝い、運動、遊びなどを通して、元気に明るく体を動かす楽しさを身につけましょう。 ・友人と外遊びやスポーツをし、こころと身体を育てましょう。
休養・こころの健康	「生きる力」や「命の大切さ」を学びましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠の大切さを知り、適正な睡眠時間をとりましょう。 ・親子ともに性（命の誕生）について学びましょう。 ・悩みや不安は抱え込みます、スクールカウンセラーや親に相談しましょう。 ・自分の気持ちを伝えることや、相手を認め思いやりができる子になります。
飲酒・喫煙	「アルコール」や「たばこ」は子どもの近くに置かないようにしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの近くでたばこを吸わないようにしましょう。 ・家庭等で禁煙・分煙に努めましょう。 ・アルコールやたばこなどの健康への害を知り、口にしないようにしましょう。
歯・口腔の健康	歯磨きは、磨き残しがないようにしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、食後に歯を磨く習慣を身につけましょう。 ・乳歯と永久歯が混ざっているため、工夫してしっかりていねいに磨きましょう。
健康管理	学校の健康診査を受けて、健康チェックをしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の健康診査を受けて、自分の健康状態を知りましょう。 ・適正な体重を知りましょう。 ・規則的な生活リズムを身につけましょう。 ・テレビ・ゲーム等は時間を限るようにしましょう。 ・帰宅時の手洗い・うがいをしましょう。

3. 思春期(13～19歳)

目標：生涯にわたって継続できるような 自立的で健康なライフスタイルをつくる

- ・思春期は、自我にめざめ、学童期からの生活習慣をもとに、自分なりのライフスタイルを自立的に形成していく時期です。
- ・命の大切さ、正しい性の知識を身につけるなど自分を大事にするという気持ちを持つとともに、友人関係など様々な人間関係を学び、社会に出るための準備をする時期です。

思春期のみんなの目標

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	栄養バランスを考えた食事をとりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・家族そろって楽しく栄養バランスのとれた食事をしましょう。 ・間食のとり方や内容に注意しましょう。
身体活動・運動	「運動」で、健康なこころと身体をつくりましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にあった運動を見つけ、楽しみながら運動習慣を身につけていきましょう。
休養・こころの健康	「こころ」の安定を保つ方法を知りましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、友人、自分の事などで悩んだら、一人で悩まず、相談相手を見つけましょう。 ・正しい性の倫理観や感染症に対する知識を学び、安易な性行動は避けましょう。
飲酒・喫煙	「たばこ」は吸わない、「アルコール」は飲まないようにしましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの近くでたばこを吸わないようにしましょう。（保護者） ・家庭等での禁煙・分煙に努めましょう。（保護者） ・アルコール、たばこなどの健康への害を知り、口にしないようにしましょう。 ・喫煙、飲酒を勧められても、断る勇気をもちましょう。
歯・口腔の健康	「歯肉」にも気を配りましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日食後に歯を磨く習慣を身につけましょう。 ・ていねいに歯磨きをして、口の中を観察し歯肉の状態にも気を配りましょう。
健康管理	自分の健康は自分で管理しましょう	<ul style="list-style-type: none"> ・学校健診や職場健診を受けて、自分の健康は自分で管理できるように心がけましょう。 ・適正な体重を知り、無理なダイエットをしないようにしましょう。 ・夜型の生活を控え、規則的な生活を心がけましょう。 ・テレビ・ゲーム等は時間を限るようにし、パソコンや携帯電話等は家庭のルールをつくりましょう。

4. 成人期(20 ~39歳)

目標：運動・食習慣をはじめ健康な生活習慣をつくり、適切なストレス解消方法を身につける

- これまでの生活習慣をあらためて見直し、より望ましい健康な生活習慣づくりをする時期です。
- 「1に運動、2に食事、しっかり禁煙」を念頭において、肥満抑制など生活習慣病を予防するライフスタイルを形成していきます。

成人期のみんなの目標

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	「食事」の量や内容をコントロールして食べましょう	<ul style="list-style-type: none"> 適正体重を維持することのできる食事量を知り、実践しましょう。 朝・昼・夕 3 度の定期的な食事の習慣をつけましょう。
身体活動・運動	意識して「体」を動かしましょう	<ul style="list-style-type: none"> 自分にあった運動を見つけ、楽しみながら運動習慣を身につけていきましょう。 生活の中に運動を取り入れて、意識して体を動かしましょう。
休養・こころの健康	自分にあったストレス解消法をみつけましょう	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠・休養を十分とりましょう。 家族で積極的な会話を持ちましょう。 不安や悩みは自分で抱え込まず、相談相手を持ちましょう。公共の相談機関も活用しましょう。 自分にあったストレス解消法を見つけましょう。
飲酒・喫煙	喫煙の健康への害を理解し、適度な飲酒量を守りましょう	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙の健康への害を理解し、喫煙しないようにしましょう。 禁煙に努め、子どもや妊婦の近くで喫煙しないようにしましょう。 適度な飲酒量を知り、大量飲酒を控えましょう。
歯・口腔の健康	定期的な歯科検診を受けて、歯周病を予防しましょう	<ul style="list-style-type: none"> 歯周病について関心を持ち、正しい歯磨き法などを身につけましょう。 かかりつけ歯科医師をもち、定期的な歯科検診を受けましょう。
健康管理	毎年、健康診査を受けましょう	<ul style="list-style-type: none"> 年に 1 回は健康診査を受けて、自分の体の状況を確認し、生活習慣を見直しましょう。 適正な体重を知り、維持管理に努めましょう。 メタボリックシンドロームに関心を持ち、理解しましょう。 定期的に血圧を測定しましょう。

5. 壮年期(40～64歳)

目標：意識して生活習慣病を予防し、快適なライフスタイルを築く

- これまでに形成されてきた生活習慣の違いが、人により、健康の面でも表面化してきます。特に、生活習慣病や疾病予防、早期発見が重要な時期です。
- 意識して肥満抑制などメタボリックシンドローム対策を自覚的にすすめ、健康な生活習慣で快適なライフスタイルを築きます。

壮年期のみんなの目標

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	栄養バランスのある食事をしっかり食べましょう	<ul style="list-style-type: none"> 適正体重を維持し、適度な食事量をとりましょう。 脂肪の多い食品や塩分を控え、薄味に心がけましょう。 野菜をしっかり食べましょう。
身体活動・運動	自分にあった運動習慣を身につけましょう	<ul style="list-style-type: none"> 自分にあった運動を見つけ、楽しみながら運動習慣を身につけていきましょう。 生活の中で、意識して体を動かし、歩数を増やしましょう。
休養・こころの健康	自分にあったストレス解消法を見つけましょう	<ul style="list-style-type: none"> 睡眠・休養を十分とりましょう。 休暇や余暇などを利用して、上手に気持ちを切り替え、ストレスを溜めないようにしましょう。 不安や悩みは自分で抱え込まず、相談相手を持ちましょう。公共の相談機関も活用しましょう。
飲酒・喫煙	喫煙の健康への害を理解し、適度な飲酒量を守りましょう	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙の健康への害を理解し、喫煙しないようにしましょう。 禁煙に努め、子どもや妊婦の近くで喫煙しないようにしましょう。 適度な飲酒量を知り、休肝日を設けましょう。
歯・口腔の健康	定期的に歯科検診を受けて、6424(*)を目指しましょう	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ歯科医師をもち、定期的に歯科検診を受けましょう。 毎食後、しっかり歯磨きをしましょう。 デンタルフロスや歯間ブラシで、ていねいに歯垢をとりましょう。
健康管理	毎年、健康診査を受けるなど健康管理に気を使いましょう	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回は健康診査を受けて、自分の体の状況を確認し、生活習慣を見直しましょう。 精密検査が必要と言わいたら必ず受診しましょう。 適正な体重を知り、維持管理に努めましょう。 メタボリックシンドロームに関心を持ち、予防しましょう。 定期的に血圧を測定しましょう。

* 「6424」（ロクヨンニイヨン・むし歯にしない）：自分の歯を64歳で24本以上保つ（「健康いばらき21」の目標）。

6. 高齢期(65歳以上)

目標：健康な生活習慣で、生活機能の低下を防止し、いきいきした生活を楽しむ

- 若い時期よりも身体機能が低下し、健康状態が気になりますが、健康な生活習慣により、生きがい活動を楽しむ時期です。
- 生活習慣病の進行を防止するとともに、要支援・要介護の状態にならないように、自分の健康や体力に対応した適切な運動習慣づくりが重要です。

高齢期のみんなの目標

テーマ	主な目標	行動目標
栄養・食生活	いろいろなものをバランスよく食べましょう	<ul style="list-style-type: none"> いろいろなものを、バランスよく食べましょう。 カルシウムは意識してとりましょう。 塩分を控え、薄味を心がけましょう。
身体活動・運動	体力を維持し、転倒を予防しましょう	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中で、体力に応じてできるだけ体を動かしましょう。 歩くことを日常の習慣にしましょう。
休養・こころの健康	社会との「交流」を保ちましょう	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に地域活動や趣味を持ち、人との交流を持ちましょう。 不安や悩みは自分で抱え込まず、相談相手を持ちましょう。公共の相談機関も活用しましょう。
飲酒・喫煙	喫煙の健康への害を理解し、適度な飲酒量を守りましょう	<ul style="list-style-type: none"> 喫煙の健康への害を理解し、喫煙しないようにしましょう。 禁煙に努め、子どもや妊婦の近くで喫煙しないようにしましょう。 適度な飲酒量を知り、休肝日を設けましょう。
歯・口腔の健康	定期的に歯科検診を受けて、8020(*)をを目指しましょう	<ul style="list-style-type: none"> かかりつけ歯科医師を持ち、定期的に歯科検診を受けましょう。 毎食後、しっかり歯磨きをしましょう。 デンタルフロスや歯間ブラシで、ていねいに歯垢をとりましょう。
健康管理	かかりつけ医師を持ち、健康管理を心がけましょう	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回は健康診査を受けて、自分の体の状況を確認しましょう。 身近なかかりつけ医を持ち、普段から健康状態をチェックしましょう。 定期的に血圧を測定しましょう。

* 「8020」(ハチマルニイマル運動)：自分の歯を80歳で20本以上保つ運動（「健康日本21」の目標）。

2 計画の推進

(1) 推進体制

本計画の推進体制は次の通りとします。

①境町健康づくり推進協議会

境町の健康づくり推進に関する各種団体の代表、町民、事業者、学識経験者、行政機関等で構成する「境町健康づくり推進協議会」により、本計画の進捗状況の評価及び計画推進に必要な事項の審議を行い、関係機関等への意見・提言を行います。

②計画推進ワーキングチームの設置

境町関係各課の担当者による「計画推進ワーキングチーム」を設置して、本計画の進捗状況に関する調査・研究を行い、「推進協議会」に必要な資料提供及び意見・提言を行います。

③事務局担当

「健康づくり推進協議会」及び「計画推進ワーキングチーム」の事務局は健康推進部課が担当します。

(2) 計画の評価

本計画の事業進捗状況の管理及び計画の評価は次のとおり行います。

①事業進捗状況の管理

年1回程度、主に数値項目により、事業の達成状況について事業担当課による進捗状況の管理・評価を行います。

②計画の評価

本計画の計画期間中、中途の年度及び最終年度等において、「計画推進ワーキングチーム」の検討を経て、「健康づくり推進協議会」が計画全体の評価を行います。

評価指標は、事業担当課の進捗状況の管理・評価及び成果指標（設定目標への到達状況）、町民アンケート結果等を主な指標とします。

(3) 具体的な目標の設定

＜目標設定の基本的な考え方＞

①目標項目の設定

- テーマ及び施策の方向に関する取組の成果を表現する代表的な項目であること。
- アンケートデータ等の数値データが入手可能であること。
- 18歳以上の場合、比較的問題がある場合は性別・年代別に設定、それ以外の場合は、「全体」として性別に設定。

②目標値の設定（増加が望ましい場合）

- 現状値が50%未満の場合は、当面50%を目標値に設定。
- 現状値が50%以上の場合は、「増加」を目標として設定。
- 現状値が100%に近い場合は、「100%に近づける」ことを目標に設定。
なお、現状値は平成24年度（主に平成24年9月アンケート）、目標値は中間年度の平成29年度とします。

基本目標1 生活習慣病にならない健康な生活習慣づくり

1) 栄養・食生活

	項目	現状	目標	備考
1	朝・昼・夕の三食を必ず食べるよう心がける児童の増加	幼児 97.1% 小学5年生 80.7% 中学生 84.5% 高校生 82.7%	100%に近づける	
2	朝・昼・夕の三食を必ず食べるよう心がける人の増加	男性 72.4% 女性 79.0%	増加	
3	朝食を毎日食べる児童の増加	幼児 87.1% 小学5年生 84.1% 中学生 84.5% 高校生 85.2%	100%に近づける	
4	朝食を毎日食べる人の増加	20代男性 31.3% 20代女性 70.6%	50% 増加	
5	主食・主菜・副菜をそろえた食事に心がける人の増加	20代男性 43.8% 20代女性 58.8% 30代男性 36.4% 30代女性 60.9%	50% 増加 50% 増加	
6	塩分を控えめにするよう心がける人の増加	20代男性 37.5% 20代女性 58.8% 30代男性 22.7% 30代女性 30.4%	50% 増加 50% 50%	
7	自分の食生活を良いと思う人の増加	男性 57.1% 女性 68.0%	増加	「たいへん良い」と「どちらかといえば」計

2) 身体活動・運動

	項目	現状	目標	備考
1	運動やスポーツを習慣でしている児童の増加	小学5年生 75.0% 中学生 79.4% 高校生 58.1%	増加	「ほとんど毎日」と「週1日以上」の計
2	週2回以上の定期的運動習慣者の増加	男性 28.8% 女性 27.5%	50% 50%	
3	なるべく歩くように心がける人の増加	男性 31.2% 女性 30.5%	50% 50%	
4	かなり運動不足という人の減少	男性 32.4% 女性 37.5%	減少	「かなり運動不足」

3) 休養・こころの健康

	項目	現状	目標	備考
1	休養が十分取れている人の増加	男性 30.0% 女性 24.0%	50% 50%	
2	睡眠が十分取れている人の増加	男性 31.8% 女性 23.5%	50% 50%	
3	うつ病等にかかる心配や不安を感じる人の減少	男性 28.8% 女性 36.0%	減少	「かなり不安」と「少し不安」の合計
4	かなりストレスを感じる児童の減少	中学生 14.4% 高校生 14.8%	減少	ストレスが「かなりある」人

4) 飲酒

	項目	現状	目標	備考
1	(飲酒習慣者)適度な飲酒量を知っている人の増加	男性 76.7% 女性 81.0%	増加	飲酒の習慣があると回答した人
2	(飲酒習慣者)週に飲まない日を設けている人の増加	男性 30.1% 女性 66.7%	50% 増加	飲酒の習慣があると回答した人
3	(飲酒習慣者)20歳未満で飲酒を始めた人の減少	男性 17.9% 女性 7.9%	0%	

5) 喫煙

	項目	現状	目標	備考
1	喫煙する人の減少	20代男性 37.5% 30代男性 36.4% 40~64歳男性 33.8%	減少	「吸っている」人
2	(喫煙者)20歳未満で喫煙を始めた人の減少	男性 33.6% 女性 28.6%	0%	「吸っている」人
3	受動喫煙の被害にあった人の減少	男性 19.4% 女性 19.5%	減少	「ほとんど毎日あった」人
4	禁煙認証制度施設の増加	2か所		

6) 歯・口腔の健康

	項目	現状	目標	備考
1	64歳で24歯以上自分の歯の保持者の増加	男性 27.3% 女性 29.2%	35% 35%	60~64歳
2	80歳で20歯以上自分の歯の保持者の増加	80歳以上男女 25%	増加	80歳以上
3	1日に2回以上歯磨きをする児童の増加	小学5年生 96.6% 中学生 97.9% 高校生 90.1%	100%に近づける	
4	1日に2回以上歯磨きをする人の増加	20代男性 81.3% 20代女性 88.2% 30代男性 77.2% 30代女性 100%	100%に近づける	
5	正しい歯磨きの方法を知っている人の増加	小学5年生 43.2% 中学生 17.5% 高校生 12.3%	50% 50% 50%	

基本目標2 病気の予防と健康づくりを推進する保健・医療の充実

1) 次世代の健康づくり

	項目	現状	目標	備考
1	乳幼児受診率の向上	1歳6か月児 92.8% 3歳児 89.7%	100%に近づける	現状値はH23年度
2	自分は健康であると思う児童の増加	幼児 94.3% 小学5年生 87.5% 中学生 86.6% 高校生 88.9%	増加	
3	子育てを楽しいと感じる人の増加	幼児（保護者） 87.2%	増加	「楽しい」と「大変だけど楽しい」の計
4	学校生活を楽しいと感じる児童の増加	小学5年生 85.2% 中学生 91.7% 高校生 85.2%	増加	「大いに楽しい」と「まあ楽しい」の計

2) 健康診査の充実

	項目	現状	目標	備考
1	健診を受けていない人の減少	20代男性 50.0% 20代女性 47.1% 30代男性 31.8% 30代女性 4.3%	減少	「受けていない」人
2	メタボリック症候群の診断を受けた人の減少	40~64歳男性 42.6% 40~64歳女性 15.2% 65~74歳男性 28.9% 65~74歳女性 8.0%	減少	
3	メタボリック症候群の周知率の向上	男性 71.2% 女性 72.5%	増加	「言葉も内容も知っている」人
4	適正体重を維持している人の増加 (BMI 普通)	40~64歳男性 52.9% 40~64歳女性 67.1%	増加	
5	特定健診受診率の向上	40~74歳男性 38.9% 40~74歳女性 48.9%	増加	現状値 22年度
6	がん検診受診率の向上(40歳以上男女)	肺がん 51.7% 胃がん 23.8% 大腸がん 36.3%	増加	現状値 22年度

3) 安心できる医療施策の推進

	項目	現状	目標	備考
1	かかりつけ医のいる人の増加	男性 53.5% 女性 66.0%	増加	
2	自分は健康であると思う人の増加	男性 83.0% 女性 83.0%	増加	「大いに」と「まあ健康」の計
3	高血圧の診断を受けた人の減少	40~64歳男性 26.5% 40~64歳女性 22.8% 65~74歳男性 55.3% 65~74歳女性 44.0%	減少	

基本目標3 町民の健康を守り、増進する健康まちづくり

1) 地域ぐるみの食育の推進

	項目	現状	目標	備考
1	食育周知率の向上	男性 28.2% 女性 53.0%	50% 増加	「言葉も内容も知っている」人
2	食生活改善推進員の増加	39人		23年度
3	健康づくり協力員の増加	25人		23年度

2) 町民の健康づくり運動の推進

	項目	現状	目標	備考
1	シルバーリハビリ体操指導士の増加	1級 - 2級 21人 3級 38人		
2	スポーツ教室指導員の増加	スポーツ少年団 52人		



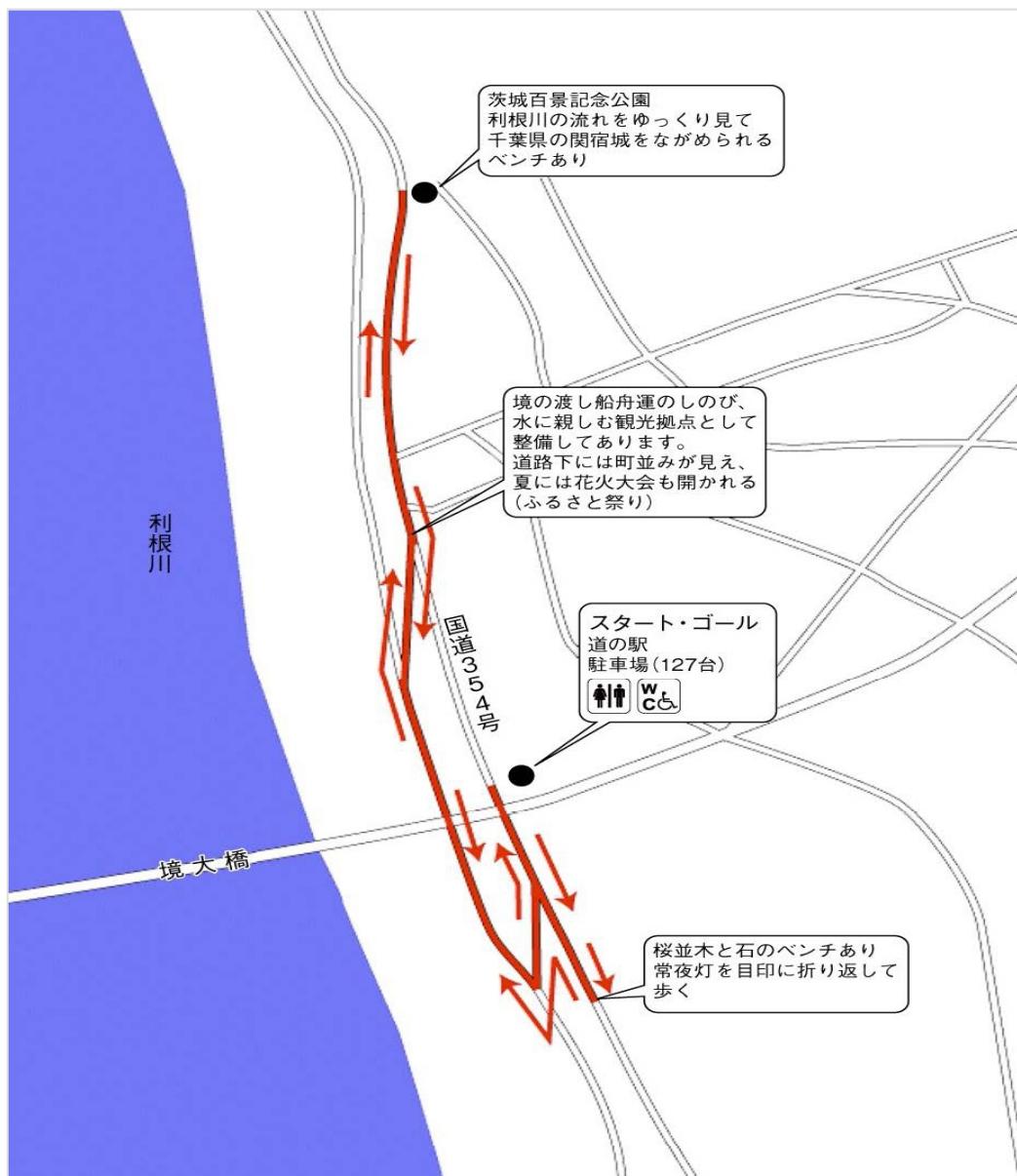
資 料

資
料

参考資料：ヘルスロード

さくら堤と利根川散策コース（境町 往復型・郊外）

コースの特徴	利根川をながめ、富士山や筑波山も見える。		
アクセス	車（駐車場有、127台）（スタート地点住所：境町 1341-1）		
延長	3. 3Km	平坦さ	スロープあり
所要時間	50分	勾配の有無	急
歩数	4852歩	自転車の通行	可
消費カロリー	男性 168kcal 女性 137Kcal	車椅子の通行	可
幅員	2. 2m 最小	最大 2. 9m 2. 2m	トイレ
車道との区分	歩行者専用		その他 公衆電話（カード可）、花壇
舗装の有無	アスファルト（一部2456m）		みちの駅（さかい）



境町健康増進計画策定委員会設置要綱

(目的)

第1条 健康増進法（平成14年法律第103号）第8条第2項に規定する市町村の住民の健康の増進の推進に関する施策として境町健康増進計画（以下「計画」という。）を策定するにあたり、必要な調査、検討等の調整を図るため、境町健康増進計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議を行うものとする。

- (1) 計画の策定に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、前条の目的を達成するために必要な事項。

（組織・構成）

第3条 策定委員会は、次の各号に掲げる者の中から町長が委嘱、又は任命する委員をもって構成する。

- (1) 議会関係者
- (2) 医師会代表者
- (3) 歯科医師代表者
- (4) 各種団体代表者
- (5) 健康づくり協力組織代表者
- (6) 行政関係者

2 委員の任期は、委嘱又は任命の日から計画策定が終了したときまでの期間とする。

（委員長及び副委員長）

第4条 委員会に委員の互選により、委員長及び副委員長1名を置く。

- 2 委員長は、委員会を総理し、委員会を代表する。
- 3 委員長は、委員会を招集し、委員会の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長が欠けたとき又は事故あるときは、その職務を代理する。

（会議）

第5条 委員会の会議は、委員長が必要に応じて招集する。

- 2 委員長は、必要があると認めたときは、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聞くことができる。

（庶務）

第6条 委員会の庶務は、健康推進課において処理する。

附則

（施行期日）

この要綱は、平成24年7月1日から施行する。

境町健康増進計画策定委員会委員名簿

	組織・構成	氏 名	所属・役職等	備 考
1	議会関係者	中 村 治 雄	議会教育民生委員長	委員長
2	医師会代表者	高 橋 正 彦	猿島郡医師会会长	
3	歯科医師代表者	遠 藤 良 平	境町歯科医師代表	
4	各種団体代表者	石 山 真 道	境町国民健康保険運営協議会会长	
5	各種団体代表者	光 山 光 次	境町体育協会会长	
6	各種団体代表者	遠 藤 幸 保	境町老人クラブ連合会会长	副委員長
7	各種団体代表者	石 綿 勇	境町区長会長	
8	各種団体代表者	福 田 吉 晴	境町社会福祉協議会会长	
9	健康づくり協力組織代表者	渡 辺 よう子	境町健康づくり協力員会会长	
10	健康づくり協力組織代表者	柿 沼 きくい	境町食生活改善推進協議会会长	
11	行政関係者	武 井 弥 生	古河保健所健康指導課長	
12	行政関係者	塚 原 栄 一	民生部長	
13	行政関係者	大 島 孝 夫	保険課長	
14	行政関係者	野 村 美喜男	福祉課長	
15	行政関係者	長谷川 浩 一	おおぞら保育園長	
16	行政関係者	台 章	給食センター長	

境町健康増進計画 策定経過

日程	機関会議等	内容
<平成 24 年>		
7月 23 日	第 1 回ワーキング委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○計画策定について ○施策の現状・課題について ○アンケート実施について ○関係資料収集について
9月 1 日 ～30 日	アンケート実施	<ul style="list-style-type: none"> ○町民アンケート ○子どもアンケート 保育所・幼稚園 3 歳児保護者、 小学 5 年生、中学 2 年生、高校 2 年生
11 月	アンケート調査報告書	
12 月 6 日	第 2 回ワーキング委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート集計分析結果について ○計画素案について
12 月 25 日	第 1 回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○計画素案について
<平成 25 年>		
2 月 5 日	第 2 回策定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ○計画原案について
3 月 1 日 ～21 日	パブリックコメント実施	<ul style="list-style-type: none"> ○計画原案について町民意見公募

境町健康増進計画

みんなでいきいき健康まちづくり さかい

発行 平成25年3月 境町

編集 境町民生部健康推進課（境町保健センター）

〒306-0434 茨城県猿島郡境町大字上小橋540番地（文化村内）

電話：0280（87）8000 FAX：0280（87）8002